

西暦 2022 年 6 月 3 日

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究を実施しております。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究機関名	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
研究課題名	当院での麻酔科管理の MRI 鎮静検査枠開設前後における 1 日の全検査終了時刻の変化についての検討
研究代表者 氏名・所属部署	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 濱場啓史・麻酔科
研究対象者 (研究対象者等が自身が対象者であると容易に知り得るように記載)	2018 年 1 月から 2020 年 3 月までに MRI 検査を行った患者
研究期間	研究実施許可後～2025 年 12 月
研究目的・方法 (意義、目的、方法、試料等の二次利用等)	<p>小児における MRI 検査は鎮静を要することが多いが、欧米に比して麻酔科医の不足などから日本では十分な体制を取れていない。使用薬剤は経口のトリクロホスナトリウム、経肛門の包水クロラルなど、静脈麻酔薬以外を用いる施設が多いと報告されるが、これらの薬剤は作用の個人差が大きいことが知られ、入眠に時間を要したり中途覚醒を認めることなどから、検査予定時刻の変更や検査中断、検査時間延長につながり、医療従事者の業務逼迫をきたしかねない。</p> <p>麻酔科医が鎮静に携わり画一的なアプローチを行うことで、鎮静の不具合によって生じる検査予定の変更や検査時間延長などを減らし、円滑な検査運営につながる可能性があると考え、現在までに同様の疑問に答えている過去の研究は見当たらない。</p> <p>当院では 2018 年 10 月から段階的に麻酔科による鎮静枠を増やしており、その期間ごとにおける、1 日の MRI 検査終了時刻の変化を調査する。</p>
研究に用いられる試料・情報の項目や種類	検査数、検査稼働日数、患者年齢、性別、検査依頼診療科、撮像部位、造影の有無、緊急症例数、鎮静症例数、麻酔科管理数、1 日の全検査の撮像が終了した時刻、各検査の平均撮像時間
研究計画書などの研究関連資料の入手方法、または閲覧方法	本研究の研究対象者(等)が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。下記の間合せ先までご連絡ください。
個人情報の開示	本研究の研究対象者(等)から、個人情報の開示の求めがあった場合、保有する個人

に係る手続き	情報のうちその本人に関するものに限って、地方独立行政法人大阪府立病院機構 個人情報取扱及び管理に関する規程に基づいて、開示手続きをとりますので、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。
照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター 麻酔科 濱場啓史 電話 0725-56-1220 (代表)